

まちの話 だい

6月10日 | 山あい響く優しい音色

東光寺本堂で、六合コミュニティ委員会と六合公民館による「ほたるの里コンサート」が開かれ、地域住民など約200人が訪れました。

「オカリーナひまわり」のオカリーナ演奏会では、来場者が懐かしの童謡などを合唱。続いて同寺の辻亮駿住職が、同委員会の齋藤実さん手作りの紙芝居を使って「ホタルの一生」を説明すると、子どもたちは熱心に耳を傾けていました。



6月11日 | 大雨に備え万全の対策を

本格的な出水期を前に、地域全体の水防意識・技術の向上と、各機関の連携強化を図るため、大井川河川敷で水防訓練が実施されました。

訓練には、自主防災組織・消防団・自衛隊など約330人が参加。土のう作りや「積み土のう工法」など、緊急時の水防工法を実践しました。また、川側にシートを貼り堤防崩壊を防ぐ「シート貼り工法」を初めて行い、その作業手順を確認しました。

6月4日 | 親子で学ぶ稲作体験

川根町家山地区で、地域の有志による稲作体験教室「田んぼ借りちゃいました。」で、田植え体験が行われました。子育て世代の親たちが「川根をもっと知り、子どもと一緒に楽しみたい」という思いから生まれた企画です。

参加した親子約70人は、泥に足をとられながらも、秋の収穫への期待に胸を膨らませ、苗を植えていました。





6月18日 | 楽しく弾んで健康維持

市総合スポーツセンター「ローズアリーナ」に約300人が集まり「第8回島田市みんなで歩こうトランポウォーク!!」が行われました。

トランポウォークは、ミニトランポリンの上でウォーキングをする足腰への負担が少ない有酸素運動。参加者は、基本ウォークからジャンケンを取り入れたレクリエーションウォークまで、さまざまな動きを楽しみ、汗を流していました。

6月15日 | 地域の歴史の重みを実感

第五小学校で、島田帯祭保存会による「お祭講座」が開かれ、3年生35人が参加しました。

この講座は、子どもたちに「島田大祭」への関心を持ってもらい、将来祭りの担い手となってほしいという保存会の思いから、毎年開催しています。児童たちは、実際の大行列で使用する「大鳥毛」や「台傘」などの祭り道具を持たせてもらおうと、伝統の重みに驚いていました。



トピックス

花の会が環境大臣表彰を受賞



島田市花の会が「地域環境美化功績者表彰」を受賞し、6月15日に永野隆夫会長(写真中央)と松木正幸副会長(同左)が、染谷市長を表敬訪問しました。

同会は1957年に設立。JR六合駅をはじめとした市内各所の花壇整備や、小学校の新生に花の苗を贈るなどの活動が評価されました。永野会長は「受賞を活動や会員を広げるいいきっかけにし、これからも励んでいきたい」と喜びを語ってくれました。